



ゴロスケ報々



イラスト：森の絵本づくりの会 和田

事務局からのお知らせ

●新年度会費納入について●

新年度会費について、振込用紙を同封しました。金額を確認の上、できるだけ早く郵便局からお振込みいただきますようお願いいたします。

<振込期限(厳守)> 3月18日(木)まで (ボランティア保険を途切れなくかける都合上)

- 大人会費 2,000円 子ども会費 600円 家族会費 3,500円
(家族会費は同居の小学生以上なら何名でも同額ですが、入会申込が各自必要です。)
- 振込手数料は、各自でご負担ください。
- 郵便番号・住所・電話番号など訂正のある方は、通信欄に記入をお願いします。

振込先口座番号：00240-1-59172 横浜自然観察の森友の会

友の会目標

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

畑のお客さん

冬の観察の森の畑に、モズが時々やって来て3年になる。ヒトを恐れず、近づいても年々逃げなくなってきた。その目的は、ヒトが耕した地面から這い出す虫を食べることだ。枝から飛び降りては捕まえている。彼女(?)にとっては、人間は餌を土から追い出してくれる召使のようなものかもしれないのに、近くにいるというだけで、畑の「準会員だ」などと言っている。

他にも、いろいろな動物がやってくる。

一番良く目にするのは、コジユケイだ。畑に着いた時に、森に戻って行く姿をよく見る。畑の真ん中に、多くの足跡を残していることもある。食べ物もなさそうな畑に、何しに来ているのだろう。運動に来ているとも考えられない。ただ、いつも帰っていくのは同じ方向である。

そう言えば、ノウサギも何時も同じ方からやって来て、畑を横断している様だ。そして、時にライムギやマメ類の新芽を試食するらしい。苗の上部がきれいにかじり取られている。畑の縁に糞を残したりもする。これは畑の肥料だ。足跡だけを見ていると、何時も飛び跳ねている様に思う。歩く事はないのだろうか。

シジュウカラ、メジロ、ウグイス、スズメなどの小鳥も畑の林の枝までやってくる。昨年作ったと思えるメジロの巣が畑のクマノミズキに残っていた。小鳥が砂浴びをした跡も時々ある。種を蒔いた所でもお構いなしだが、被害が限定的だ。

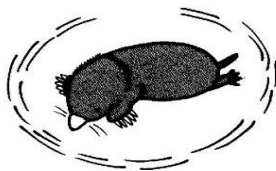
耕していると、モグラのトンネルに出くわす。夏場は水遣りに困る事もある。畝ではあまり見かけないが、周りの草むらには沢山の大きなミミズがいる。畝にミミズが少ないのは、モグラが食べ尽くしているからだろうか。周囲の草むらは笹の根などでトンネルを掘るのが大変で、行かないのだろうか。それとも、こっそり餌場にしているのだろうか。

アライグマも畑にやって来ていた。被害はひどかったが、捕獲活動のおかげで最近では少ない。埋まったままの小さなジャガイモを掘り出す特技がある。土の中のジャガイモの在り処がどうしてわかるのだろうか。掘り出したジャガイモは食べない。毒があるのが分かるのだろうか。

他にもいろいろな動物が畑をすみかとしたり、通ったりする。以前はキジも畑に来ていたらしい。

ところであのモズだが、あと何年来てくれるだろうか。世代交代で引き継いでくれる新しいモズは現れるのだろうか。畑が生き物で賑わう事は嬉しい。いろいろな生き物をもっと来る畑にしたいものだ。

落合



イラスト：Mu

●森を守るボランティア体験●

友の会活動報告

12月20日(日)鳥のくらし発見隊の担当で、観察センターと共催の森を守るボランティア体験が実施されました。参加者は6名。内2名はすでに入会済みの方でした。観察の森&友の会の説明の後、園内をバードウォッチングをしながら歩きました。鳥の姿はあまり多くなかったのですが、皆さんに楽しんでいただけたようです。終了後、1名の方に入会の申し込みをしていただきました。

参加スタッフ 鳥くら3名 + 奴賀R

鳥のくらし発見隊 中里

●1月定例会報告●

日時 2021年1月17日(日) 9:00~10:20

出席者 青木、秋元、今村、漆原、大浦(司会)、落合、鈴木、関根(書記)、高橋、中里、中塚、西山、藤田、星隈、村松、山口、吉田、渡部 掛下R、尾崎R

- 1 友の会の12月から1月までの行事報告、プロジェクト活動報告をしました。
一般の方の参加型行事は、12月の「みんなでバードウォッチング」(鳥のくらし発見隊)と「オンラインで季節の森を歩こう」(ハンミョウの会)が実施され、他は中止となりました。
- 2 4月までの友の会行事予定を確認しました。
現在の新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、不確定な要素が多くあります。
「みんなでバードウォッチング」「オンラインで季節の森を歩こう」「初めてのバードウォッチング」「森を守るボランティア体験」が予定されていますが、その他の一般の参加型行事は中止の予定です。会員のみが参加する行事は実施します。センターと共催の「森を守るボランティア体験」は定員・時間を縮小して実施する予定です。
- 3 ごろすけ館利用予定を確認しました。
- 4 事務局より
 - ・年度末提出書類のお願い
 - ・カレンダー販売 今年度は数を100部に減らしたためか、年内に完売しました。皆さんご苦労様でした。
- 5 新メンバーの紹介 2名の方が入会しました。
- 6 センターより センターだよりのページをご覧ください。

<次回の定例会>

3月21日(日)9:15~ オンライン会議を予定しています。参加申し込みは後日メールで連絡します。
(定例会終了後理事会)

定例会は会員どなたでも出席できます。

以上

●1月理事会報告●

日時 2021年1月17日(日) 10:25~11:00

出席者 青木、秋元、今村、漆原、大浦、落合、星隈、関根、中里、中塚、西山、村松、山口、吉田、掛下R、尾崎R (COVID-19感染拡大防止のため原則オンライン参加)

- 1 次年度事業計画
 - ・行事計画・PJ活動計画は集約中のため次回定例会で確認する旨、及び会計から2月末精算〆切厳守の旨、連絡がありました。
- 2 定期総会準備
 - ・理事監事選出案、オンライン開催の場合の準備について確認しました。
- 3 利用推進会議(後期)
 - ・3/6(土)13:00~15:00(オンライン開催)
- 4 安全管理
 - ・安全管理講習会(1/24オンライン開催)の案内及び次年度分テーマを次回検討の旨確認しました。
 - ・ヘイケボタルの湿地木道及びノギクの広場階段での来園者転倒ケガとごろすけ館での救護について報告、及び今後も救護にあたってはCOVID-19の危険にも配慮した対応について注意喚起がありました。
- 5 その他
 - ・活動を半日としている件について、厳しい制限ですが感染症対策上の安全を優先することを改めて確認し理解協力をお願いしました。(ブログ掲示にもあるとおり、不安のある場合の活動自粛やガイドライン遵守の周知・徹底を再度お願いしました。)

<次回理事会>

日時 3月21日(日)11:00~(定例会終了次第、早めに開始)

場所 自然観察センター研修室(オンライン併用)

議題 定期総会準備、安全管理、その他

以上

●第33回定期総会のお知らせ●

2020年度はCOVID-19対策で厳しい状況の中、各事業への参加・協力ありがとうございました。長期目標に掲げた「未来へつなぎ、みんながつながる、生きものにぎわいのある森」の「みんながつながる」機会がこれほど困難を極め、切望されたことはありませんでした。総会は1年の成果を共有し、次へつなげていく機会ですが、今回は書面開催となってしまいました。今回は、感染拡大の状況によっては、オンライン開催となる可能性があります。新たな試みで慣れない部分もあろうかと思いますが、会員の皆様の参加をお待ちしています。

日時 2021年4月4日(日) 10:00~(オンライン開催の場合は当日9:30から順次接続テスト、初めて参加される方向けに前日等にもテスト時間を設ける予定)
 場所 自然観察センター研修室(オンライン開催の場合は、密を回避するため、原則各自の自宅等から参加)
 議案 ・2020年度事業報告 ・決算報告 ・2021年度事業計画/予算 ・理事監事の選任 ・その他
 申込 メールで entry@ynstomo.org へ (3/19(金)までに)

◆オンライン開催となる場合は友の会ブログで告知する予定です。外出制限や施設休館などの状況にもよりますが、パソコンやスマホ等でZOOMを使用できる環境(マイク・カメラ・回線等)のない方は大変恐縮ですがメール等による資料送付のみとなる場合がありますのでご承知おきください。

◆終了後、「森の説明会」(隔月開催の「森を守るボランティア体験」(森ボラ)のオリエンテーション部分=観察の森の役割、活動案内、園内のルールなど。30分程度)を希望者向けに開催します。森ボラにまだ参加していない会員の方は、この機会にぜひご利用ください。(希望者は申込時に「説明会希望」と明記してください。状況によっては開催出来ない場合がありますのでご了承ください。)

●友の会の理事や担当(交流行事準備などの事務局お手伝い)を募集しています!

<新入会員・初心者歓迎!>

行事のお手伝いなどから気軽に活動を始めませんか? これまでに学生等でも理事として活躍した例があり、どなたでも大丈夫です。理事の会員公募枠(3名以内)は幅広く推薦・立候補を募集しています。

<学習機会やボランティア事始めなどとしても最適!>

何かと役立つグループ運営の実践や活動を知る機会として、フィールドの魅力にも支えられながら気軽に参加いただけます。希望者は事務局メンバーや各PJへご相談ください。 以上

●友の会プロジェクト紹介(カワセミファンクラブ)●

友の会プロジェクト紹介

カワセミファンクラブは現在PJ員10名で構成され、園内に生息する野鳥、チョウ、トンボの観察・記録を活動の主体とするプロジェクトです。

野鳥に関しては1997年6月からのカワセミの調査結果を調査報告3号に、チョウ・トンボに関しては2006年4月からの調査結果を調査報告12号に投稿したのが最初で、以後園内で継続的に活動し、結果を発表しています。

また、調査に伴い撮影した生物写真を一般来場者に紹介する事にも注力しており、定例写真展では野鳥と昆虫写真を、特別写真展ではテーマに沿った野鳥写真を、「四季の野鳥」常設展では四季それぞれの野鳥写真を一般来場者に公開し、この森の生態系の豊かさをアピールしています。これらに加え、この森の昆虫などの生物の生息環境を保全する活動にも取り組んでおり、年間計画の中で計画的に取り組んでいます。

日々の活動は園内での自由観察が主体ですので、新型コロナ下ではありますが、なんとか活動を継続し、調査活動の伝統を繋いで行きたいものと考えています。

現下の状況では来場者と気軽に会話はできませんが、いずれ状況が改善しましたらこの森の生物と自然について大いに語り合うのがプロジェクト員の願いです。 カワセミファンクラブ 大浦

昨年同時期の友の会ブログ記事を再掲載して、この季節の森情報を紹介するコーナーです。

森の自然情報

ブログより

今回は、2020年2月16日付け「畑プロジェクト」さんのブログです。昨年2月はコロナ禍の拡大で2/29から観察センターが臨時休館となり友の会活動も中止しました。6/2にようやくセンターが再開され、一部の活動を再開出来た喜びもつかの間の第3波襲来。今年も森ではモズが元気に鳴いて、こんな世の中でも季節はちゃんと廻っていることを知らせてくれます。1日でも早くまた森にみんなの笑顔が溢れる日が来て欲しいと思います。

編集担当

この記念写真は、収穫物を持って並んでいる所である。右側の二人があらぬ方を見ているのは、モズが私も写真に映りたいと、すぐそばまで飛んできたからである。前回の「2月初めの畑」にいた個体に違いない。



今日は3、4メートルに近づいても逃げない。その親密さから我々は、彼女を畑の特別会員とすることにした。彼女は、土を掘り返してえさを探してくれる「下僕ども」がいると思っているだけかもしれないが。



次は、フキノトウの収穫である。例年より相当収穫時期が早い。暖冬だ。地球温暖化だ。皆で何とかしなければ、自然が変になってしまう！！



次にその日のメインイベントである、ヤマイモ堀にみんなで取り掛かった。

なかなか大きいものが出てこない。このイモはどれぐらいの大きさか期待が膨らむ。



●2020年度安全講習会報告●

「子どもたちの発達、その理解と自然体験」

日時： 2021年1月24日（日）10時30分～12時

場所： 観察センター研修室からオンラインで実施

講師： 県立金沢養護学校 連携・支援グループ 教育相談コーディネーター 手塚嘉美先生

今回の安全管理講習は企画から1年がかりでの実施になりました。もともと2020年度は「子どもと安全」で実施することになっていましたので、神奈川県青少年センターと相談をしたところ、単にケガや体調不良の予防という意味では、大人と子どもで何か本質的に違いがあるわけではないので、これまで友の会がやってきた安全管理講習でほぼカバーされているとの助言でした。代わりに提案されたのが、子どもたち自身やそれを囲む社会の動きが変わりつつある中で、例えば発達障害の子どもへの対応などは、野外活動で子どもたちと関わる人たちも理解を進めておくことが大事ではないか、ということでした。

もう一つのきっかけは、同じ昨年1月に、日本自然保護協会が開催した自然観察指導員の全国大会。そこではこれからの自然観察や自然体験の方向性の一つとして、これまでの自然保護や生物多様性保全への啓発だけでなく、認知症の高齢者や発達障害の子どもたち等にも対象を広げて、自然体験の新しい価値を見出していくことが提起されました。

この二つの切り口で企画を進め、理事会の承認を得て準備にかかり、講師を県立金沢養護学校の手塚先生に引き受けていただき、昨年5月17日の開催を決めました。しかしコロナの感染が拡大し、開催はとりあえず延期。そのまま秋になり、今年度は見合わせかな、という時に、友の会の定例会もガイドウォークもオンラインでやっているのだから、安全管理講習もオンラインではどうか、ということになりました。オンライン開催には心理的、インフラ的なハードルがあるのではないかと心配もあったのですが、結果的には観察センターにも支援をもらいながら、不安のある方には接続テストも行い、20名方が参加されて例年と同様に開催できました。

「障がい理解のために」というタイトルの講演の内容は盛りだくさんでしたが、ポイントを絞れば、、、

- ・障がいというのは濃淡で、どこからが健常でどこからが障がいというものでなく、だれもがグラデーションのどこかにいるという視点からスタート。
- ・かつてはちょっと変わった子ども、困った子どもと受け取られがちであった発達障害の子どもたちも、それが広い意味での個性であり、社会の受け取り方や支援で自立し、自分の居場所を見つけ、才能を伸ばしていることが理解できました。
- ・更に、体験コーナーで「りんご」は見えるので書けるけれど「ゆっくり」は見えないので共通の理解がしづらいことに気づき、このようなコミュニケーションへの配慮や工夫は、高齢者や健常と言われる人たちとのコミュニケーションにもとても大事ですし、役に立つということも認識できました。

養護学校や特別支援学級の子どもたちが、森の家を使って観察の森の自然の中で過ごす時はとても心のびりラックスできているといます。受け入れを経験した友の会の会員もおられるためか、参加者のこのテーマへの関心は思った以上に高く、質疑では前向きで活発な感想やコメントがあり、趣旨に沿った講習になりました。

このオンライン講習は録画しており視聴可能ですが、個人の肖像や名前も含まれているので、関心のある方は個別にご連絡をいただきたいと思います。

（安全管理担当 中塚C）



自然観察センターだより



2021年 2月号

【お知らせ】第6回保全管理フォローアップの会 勉強会 参加者募集

日時：3/13（土）13～16時 テーマ：「ナラ枯れ」

※感染症予防対策のため先着10名までとさせていただきます。

昨年の夏、皆さんも心配されたナラ枯れについての勉強会をおこないます。観察センター裏手で伐倒されたナラ枯れ被害木の断面を観察したり、資料を持ち寄ってナラ枯れの仕組みなどを学びたいと思います。また、今後もしばらく続くであろう観察の森におけるナラ枯れへの対策について意見交換をおこないます。

持ち物：野外活動がしやすい服装、帽子、軍手、飲み物、筆記具、マスク

※資料の準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに掛下 (kakesita@wbsj.org) か中沢 (nakazawa-k@wbsj.org) までご連絡ください。

【お知らせ】保全管理懇談会(後期)のお知らせ

今年度おこなった環境管理作業(草刈や伐採など)、補修工事の報告や課題の共有などをおこないます。

今回も感染症予防対策のため、書面開催とさせていただきます。

ご希望の方には資料をお送りしますので2月28日(日)までに掛下 (kakesita@wbsj.org) へ資料希望の旨ご連絡をください。

【管理のお知らせ】ナラ枯れ被害木の伐倒をおこないます

園路沿いで危険と思われるナラ枯れ被害木を、造園業者に委託して3月までに伐倒する予定です。大木のため一時的にトレイルの通行ができない場合があります。何かとご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。お気づきのことやご要望があれば、レンジャー掛下、中沢までご連絡ください。

【展示中】ヤマアカガエルの卵塊数報告

観察センターの窓側で、企画展の一部としてヘイケボタルの湿地の成り立ちや管理の方法を紹介しています。一番のみどころは、この春のヤマアカガエルの産卵状況のグラフ。友の会の「カエル調査隊」のみなさんの調査が実施されるたび、数字を更新しています。さて、みなさんの手元にごろ報が届くころはどんな結果になっているでしょうか。

ボランティアさん
ありがとう

12月1日
～1月31日



- 12/1～ カワセミファンクラブのみなさま 自然情報のご提供
- 12/1～ 野草の調査と保護のみなさま 開花情報のご提供
- 12/1 事務局 中里幹久さん 栄区役所の園内見学のご対応
- 12/6 野草の調査と保護 上原明子さん 外来植物の除去のご協力
- 12/13 鳥のくらし発見隊のみなさま 野鳥情報の提供
- 12/16 雑木林ファンクラブのみなさま ストーブ焚き付け用の枝のご提供
- 12/23 雑木林ファンクラブのみなさま ストーブ用薪のご提供
- 1/20 雑木林ファンクラブ 大越哲朗さん 施設の設備破損をお知らせ

横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

<https://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

指定管理者： 公益財団法人
日本野鳥の会
Wild Bird Society of Japan

行事スケジュール 2月～4月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●

●定例写真展（四季の野鳥）

日時：3/28（日）～5/29（土）

場所：観察センター内

担当：カワセミファンクラブ

★森を守るボランティア体験

日時：4/18（日）9：20～12：00

担当PJ、テーマ 未定です。

※決まりましたら観察センターHPに掲載します。

●「はじめてのちいさなしぜんかんさつ会」中止と 春休み版セルフガイドシート配布のお知らせ●

新型コロナの状況から、3/28に予定していた、子ども向け行事「はじめてのちいさなしぜんかんさつ会」は中止とします。

代わりに、春休み期間、観察の森をご家族で散歩される時の楽しみ方のヒントになるような、セルフガイドシートを作成する予定です。友の会HPからダウンロード、または自然観察センターで入手出来る形にしようと計画しています。

詳しくは、友の会HP、ブログでお知らせします。

担当：友の会事務局 ふじた・かおる

★ 注意 ★

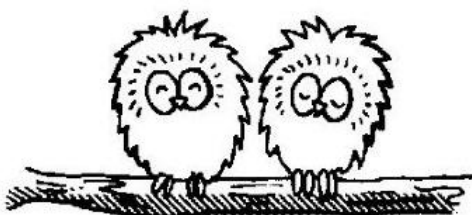
新型コロナウイルス対策の状況によっては、各行事の中止、開催方法や開催日変更などの可能性もあります。

友の会のホームページ

(<http://ynstomo.org/>)

ブログ (blog.livedoor.jp/yns_tomo/)

で随時情報を更新していきますので、そちらでご確認をお願いいたします。



イラスト：Mu

●友の会 定例行事●（一般参加者募集）

●みんなでバードウォッチング（野鳥観察）

～のんびり楽しむバードウォッチング～

事前申込制で開催しています！

3/14（日）・4/11（日）

9：30～12：00（雨天中止）

定員：10名（事前申込、応募多数の場合抽選）

対象：小学生以上（小学生は保護者同伴で）

申込：メールで entry@ynstomo.org

申込内容

① 行事名「みんなでバードウォッチング」

② 参加者全員のお名前と年齢

③ 代表者連絡先（住所、携帯電話番号）

④ 双眼鏡の貸出し希望台数

詳細は友の会ブログ「森のできごと」参照

担当：鳥のくらし発見隊

毎月第2日曜

●オンラインで季節の森を歩こう

～リモートでの森の観察会開催中です！～

3/7（日）・4/4（日）

11：00～12：00（ZOOM 接続 10:30～）

定員：先着10組（1端末が1組、1組何人でも可）

申込：メールで entry@ynstomo.org

申込内容

① 件名「オンライン観察会申込」・日時

② 全員のお名前・お子様の年齢

③ zoom 利用経験の有無（あればアカウント名）

④ 通常の「季節の森を歩こう」参加経験の有無

⑤ この観察会をどこで知ったか

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

以下の定例行事は今年度は中止です。

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

担当：畑プロジェクト

8月を除く毎月第3土曜

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

担当：森の絵本づくりの会

毎月第3水曜

●自然と遊ぼう（園内の自然案内）

～ゲーム感覚で、遊びながら自然とふれあい～

担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜、12月は第2土曜

発行日 2021年2月21日

発行 横浜自然観察の森友の会

F A X 045-894-8892

E-mail: jimukyoku@ynstomo.org